

雜報

●敘任及辭令

岡山醫學專門學校教授 奧島貫一郎  
 藥物學研究ノ爲滿二箇年間英國佛國瑞西國へ留學ヲ命ス  
 (二月十二日)

陸軍三等軍醫正 簡野松太郎

兵器整備検査官ヲ命ス

(二月十三日)

敘正五位

從五位勳五等醫學博士 島蘭順次郎

敘從五位

正六位勳四等功五級 奈良眞三郎

敘正七位

從七位 稻富一郎

敘正七位

從七位 安東寛

敘正七位

從七位 内田眞壽太

敘正七位

從七位 矢野義徳

敘勳四等授瑞寶章

從六位勳五等 内田稔介

陸軍一等軍醫 平川龍造

陸軍二等軍醫 井上文夫

賜一等給

陸軍二等軍醫 西田熙治

陸軍二等軍醫 工藤磨

陸軍一等軍醫 武井良一

陸軍一等軍醫 藤井眞澄

陸軍一等軍醫 藤本友之進

陸軍一等軍醫 花房秀三

陸軍一等軍醫 遠山久大

賜二等給

西村英二

敘正八位

後藤英明

敘正八位

大橋要人

敘正八位

山本申三

敘正八位

山本宗次

敘正八位

明渡侃治

特命檢閱使附被仰付

海軍軍醫大佐 砂堀雅人

近衛歩兵第二聯隊附陸軍一等軍醫 森本末吉

免本職補仙臺衛戍病院附

(三月二日)

步兵第九聯隊附陸軍三等軍醫 伊賀久家

免本職補工兵第十大隊附

工兵第十大隊附陸軍二等軍醫 山中茂

免本職補步兵第九聯隊附

和歌山縣警察醫 佐藤明

和歌山縣警察醫ニ任ス

步兵第四十七聯隊附兼小倉陸軍兵器支廠附陸軍三等軍醫 倉内嘉也

大正九年徵兵事務執行中第五師團附兼勅被仰付

(三月十二日)

免本職 步兵第四十聯隊附陸軍三等軍醫

高原武一

(三月十七日)

叙賜

旭六等 八〇〇

三等軍醫正八位

橋川市太郎

旭六等 五六〇

三等軍醫正八位

齋藤尚雄

(大正八年十二月十五日)

### ● 人事彙報

○古川浩君 豫て米國留學中の同君は昨年十月二十日施行せられたる The State Board Examination に應じ合格

Medicine を下附せられ今回左記の處に轉寓せられたり

121 S. San Pedro St.

Los Angeles, Calif.

U. S. A.

○篠原雅吉君 豫て在米中の同君は今般左記に轉居せられたり

107 1/2, East First St.

Los Angeles, California,

U. S. A.

○水上浩君 は今回熊本縣球磨郡人吉町第一郡立病院に勤務せられたり

○藤河喜人君 は先般西伯利亞ネタ市外アンチゼハー第一

四陸軍病院附として赴任せられたり

○中村泰吉君 は豫て臺灣臺北醫院に勤務し居られしか

今般兵庫縣赤穂郡相生町相生東明病院分院主任として就職せられたり

職せられたり

○坂上一彦君 は昨年岡山醫學專門學校卒業以來岡山縣病院内科に勤務し居られしか今般在奉天南滿醫學堂内科

○藤田覺三君 は本會第三十一回總會に出席の爲め去月  
下旬來岡せられたり

○大淵英一君 同上

○岡村儀人君 同上

○齋木阿久利君 同上

○遠藤信昌君 同上

○中村松男君 同上

○香川瀧三君 同上

○池田直君 は豫て姫路赤十字社支部病院に勤務し居られしが先般同院を辭し羽太銳治博士に就き泌尿生殖器科を專攻の爲め上京せられたり

○神谷英典君 は豫て神戸市齋木病院に勤務し居られしか今般同院を辭し郷里愛知縣知多郡野間村に於て開業せられたり

○大石仁八君 は豫て徳島市古門病院に勤務し居られしが昨年未同院を辭し徳島縣板野郡撫養町に於て開業せられたり

○相馬又二郎君 は今般東京市神田區小川町一丁目十番地に轉居せられたり

○高橋勝彦君 は今般廣島市大手町九丁目に轉居せられたり

○上田俊三君(舊姓杉田) は今般大阪市南區難波櫻川二丁目に移轉せられたり

○鎌田維三郎君 は今般高松市赤十字社支部病院に勤務せられたり

進藤進君逝く 君は明治二十八年第三高等學校醫學部を卒業し直ちに府立大阪病院に勤務し辭職後は大阪府池田町に於て開業し先年來脚氣病の治療に就て研究し居られしか先般病を以て遠逝せられたりと洵に哀悼の情に堪へざるなり

兒島辰三郎君 君は明治三十八年岡山醫學專門學校を卒業し松山市二番町に於て開業し居られしが近來健康を害し靜養に力められしも其效なく二月十八日遂に逝去せられたりと洵に哀悼に堪へざるなり

高橋隆彦君 大正四年岡山醫學專門學校を卒業し郷里に於て開業し居られしか去月急病を以て逝去せられたりと洵に痛惜に堪へざるなり

江並直幹君 君は明治三十六年岡山醫學專門學校を卒業し直ちに岡山縣病院内科に勤務し辭職後本縣御津郡圓城村に於て開業し居られしが近年尾道市長江町に轉し同地監獄醫を奉職し傍ら自宅診療に従事し居られしが先般病を以て逝去せられたりと洵に哀悼の情に堪へざるなり

●阪神大二會通信 阪神間に於ける大正二年同級會春季例會を本月二十八日夕尼ヶ崎市立花樓に於て開催せり、來會者は左記の諸君にて、幹事の簡單なる挨拶ありて、同級各位大に打解け胸襟を披き、歡聲湧くが如く正十二時散會せり。

因に當日御招待申上し在阪諏訪、緒方兩博士來會の筈

なりしも折悪く兩先生共差間にて御出席見合せとなりしは遺憾なりき。

神戸市	藤原政雄	横山三郎
住吉村	永野寛治	津堀保
尼ヶ崎市	妹尾良藏	
大阪市	内藤業太郎	南川欣司
	清岡直	山崎磐
	山口茂	

阪神間に於ける大正二年同級會は、今回にて第三回にて、尙ほ大阪に黒住久、佐藤孫一、菅本一之、青野正雄、島山恒三氏、神戸に小澤清躬、大竹恭二氏等あり。